この子らに幸せを

手をつなぐ親の会　愛のひとしずく運動を実施

○……知能が遅れているというだけで恵まれない子どもたちに幸せ……○
○……を―と、昭和三十五年から、精神薄弱児の親は「手をつなぐ……○
○……親の会」をつくり、四十二年から〝愛のひとしずく運動〟を……○
○……行なって、みなさんの理解と協力を呼びかけています。この……○
○……運動は、一本十円の鉛筆をみなさんから買ってもらって、そ……○
○……の利益をこの子どもたちに役立てようというものです。……○

この運動を取り組んだ結果、昨年の売り上げは、市内で六万六千円でした。このお金は精薄児の就職懇談会や特殊学級に助成したりして役立てています。

ことしは約一万五千三百本を買っていただくことができましたが、この恵まれない子どもたちのために、よりたくさんの人のご協力をお願いします。なお、鉛筆を買いたいと思う人は、市福祉事務所（電話七二―二一一一）へ申し込みください。

九月の農地相談室

農業委員会は、次の日程で「農地相談室」を開きます。農地を転用したい人は、計画の前に農委事務局とご相談ください。事前協議がない場合せっかく転用申請をしても許可されないこともあります。

9月16日	在室	瀬田
17日	駐在	飯田
18日	庄新	井
19日	臼	巻

精薄児の施設が足りない

いま県内に知能が遅れているといわれる子どもは、約四万人いるといわれています。このうち、県内にある十四か所の精薄児施設に入所している人が約八百五十人ですから、最近、特殊学級を始めた学校がふえてきたり、四十五年から工事を始める三島郡寺泊町のコロニーが完成したりして、年々施設がふえたり、よくなったりしてきているとはいっても、まだまだ足りないというのが現状です。

そのため、これらの施設にはいれない子どもや、特殊学級のない学校で普通学級で学習している子ども、さらに、家庭の恵まれない環境の中で、毎日を過ごしている子どもなどが大ぜいいるわけです。そして、この子どもたちが成人するにつれて、よい施設で、適当な指導のもとに、社会的な適応性を養って職業につかせるには、いろいろな配慮が必要になってきます。

しかし現状ではそれが望めないため、親たちが団結してこの運動を始めたものです。

鉛筆は福祉事務所であっ旋

保母さんの中へ気軽にはいって指導する小野講師（後方右）

オリンピック体操選手　小野清子さんが講演

下越五市四郡の保育夏期大学で

東京オリンピックの体操選手小野清子さんが、白根高校で下越五市四郡の保母さん約三百人に、実技をまじえた講演を行ない、参加者から喜ばれました。これは、八月九日（土）、十日（日）の二日間、同校と青年教育センターで開かれた「下越五市四郡の保育夏期大学」に講師として招かれたものです。同夏期大学は毎年一回開くもので、今回の講師は、小野講師のほかに、高木県児童課長、久保田白梅短期大学教授が招かれ、参加した保母さんは、保育行政や幼児教育について学びました。

防犯灯六基を設置

このほど、根岸中学校から下山崎興野部落までの通学路に、地元民の善意で防犯灯六基が設置され、生徒や地元民から喜ばれています。

なお東北電力からは、同じく防犯灯十基を市内十か所に設置して寄贈されました。

地元民の善意で設置された防犯灯

家庭内の心配ごと　早めに解決を

9月4日に家事相談

夫婦間の悩みごと、扶養、男女間のもめごと、相続、遺言、親子、親族間の問題、その他家庭内のいろいろな問題で困っている人はありませんか。もしありましたら、新潟家庭裁判所が次の方法で「家事相談」を開きますので、ぜひお出かけください。家庭裁判所から出張してきた職員が親身になって相談を聞き、助言などをしてくれます。

家庭内の心配ごとも、病気と同じく、早めに解決することがたいせつです。

もちろん、相談された内容や秘密が他にもれることはありません。

1.とき　九月四日（木）午前十時から午後三時まで。

2.ところ　産業厚生会館。

3.相談を受ける人　新潟家庭裁判所の職員。

白根公園を手入れして

―問い―

ガス水道局のとなりにある白根公園についてお聞かせください。あの公園は荒れ放題になっていて、手入れが行なわれていないようですが、せっかくの公園ですから、もう少し手入れができないものでしょうか。また、市で公園を造る計画があったら教えてください。

（中央通り　主婦）

―答え―

清掃は年三回実施

公園内の樹木の手入れは、庭師との年間契約で冬囲い、剪（せん）定などを行なっていますが、ご質問の件は、公園内が散らかっている事だと思います。

公園内の清掃は、年三回くらい行なっていますが、そのあとで、公園を利用する人が池の中へ物を投げたり、散らかしたりして困っています。

市としても、できるだけ清掃、手入れをしますので、利用する人たちのご協力もお願いします。

（総務課管財係）

公園整備　重点は児童公園などを

いま市内にある公園、緑地は白根公園と市営グランドの二か所ですが、これは公園緑地の範囲からほど遠く、貧弱な状態です。市民生活をより快適なものにし、年々ふえるレクリエーションの要望に答えるため、将来、公園、緑地の整備をする必要があります。

しかし、本市の場合、市街地区域や工場地帯が少ない田園地帯のため、一般に言われている公園（普通公園、近隣公園）よりも、児童公園や運動公園を重点に整備する計画です。

（建設課都市計画係）

母子健康センターのご案内

（午後1時30分～2時30分）

しごと	9月	該当者
離乳食実習	5日第1金曜	44年5月中に生まれた乳児
妊婦検診	9日第2火曜	妊娠7か月以後の人
妊婦検診	10日第2水曜	妊娠7か月にみたない人
3か月乳児検診	16日第3火曜	44年6月中に生まれた乳児
6か月乳児検診	17日第3水曜	44年3月中に生まれた乳児
11か月乳児検診	18日第3木曜	43年10月中に生まれた乳児
3歳児検診	19日第3金曜	41年8月中に生まれた幼児
母親学級	24日第4水曜	44年8月中に妊娠届けをした人
産後相談	25日第4木曜	44年7月21日から8月20日までに母子センターか自宅で分娩した人

※母子健康センターへ入所希望の人は毎月妊婦検診を受けてください。
※母子手帳を忘れずにご持参ください。

英会話と書道講座　申し込みは30日まで

青年教育センターは、九月から「英会話と書道講座」を行ないます。

申し込みは八月三十日までですので、たくさんのかたが申し込みください。なお申し込みと問い合わせは、青年教育センター（電話七二―一二一四）へしてください。

店舗診断の申し込みは9月15日までです

市商工課と商工会は、次の方法で「店舗診断」を行ないます。この診断は、商店の近代化と合理化を目的に①店舗の改装、商品の配列、照明などの外部診断と②経営のあり方、資金ぐり、帳簿、設備が適正であるかなどの内部診断を行なうものです。

1.締め切り　九月十五日。

2.申し込みと問い合わせ　商工課（電話七二―二一一一）か商工会（電話七二―三四二八）へ。

設備近代化資金と合理化資金を受付

1.受け付け　九月一日から三十日まで。

2.申し込みと問い合わせ　市商工課（電話七二―二一一一）か商工会（電話七二―三四二八）へ。

資金の種類 項目	設備近代化資金（国）	設備合理化資金（県）
融資の対象	同じ職業を引き続き3年以上行なっていて国が指定する企業	同左ですが対象企業の指定はありません
対象設備	国が決めた設備で、年度内に設置されるもの	同左ですが設備の指定はありません
貸し付け率	設備に必要な金額の半分以内で10万円以上500万円まで	設備に必要な金額の3分2以内で10万円以上500万円まで
利率	無利子	年4分8厘
返済方法	貸し付けた日の翌日から1年据えおき4年均等割り年賦	貸し付けした日の属する会計年度を据えおき4年均等割り年賦
連帯保証人	県内居住者3人以上	同左

県芸術祭文芸部門の作品を募集

県教育委員会は、次の方法で「県芸術祭文芸部門の作品」を募集しています。

1.種目　小説＝四百字詰め原稿用紙五十枚以内。詩＝四百字詰め原稿用紙四枚以内。短歌＝三首を一編として審査します。俳句＝三句を一編として審査します。川柳＝俳句と同じで課題は「月」です。

2.応募点数　ひとり一種目一編とし、ひとり二種目以内です。

3.応募資格　小・中学生以外の県内に住んでいる人ならだれでもけっこうです。

4.応募方法　原稿は四百字詰め原稿用紙に、新かなづかいを使って、インクでかい書で書き、最初に、応募種目、住所、氏名（ペンネームも）職業年齢を書いてください。なお小説は、四百字詰め原稿用紙二枚以内のあらすじを書いて同封し、右とじにしてください。

5.締め切り　十月十五日。

6.応募先　新潟市一番堀通り　県庁第二分館内　新潟県教育委員会社会教育課へ封筒の表に「県芸術祭文芸作品応募原稿」と赤で書いてください。（郵便番号九五一一）

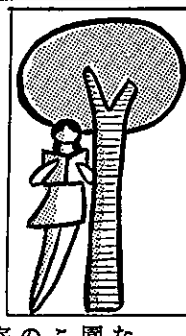
7.その他　応募作品は未発表の作品を原則にしますが、四十三年十月以降に発表した作品で、受賞しなかったものは応募してもけっこうです。その場合、〇月〇誌に発表と書いて、原稿用紙に書き直してください。

なお詳しくは、県教育委員会社会教育課（電話二八―六一一一、内線三二一～三二四）へ問い合わせください。

新刊書案内

新しい本がたくさんはいりました。お気軽にご利用くださいますよう、あなたのお越しをお待ちしています。

●図書館だより●



図書館「盛りあげる会」結成へ

―ぜひ！ご入会を―

さる八月十一日、図書館「盛りあげる会」を結成する準備会が開かれました。

この会は、市民の皆さまによって作られ、市立図書館を充実させ、文化、教養の施設として市民に活発に奉仕させたい願いからです。どなたも自由に入会できますので、多数の市民の皆さまのご入会をお願いします。

なお、詳しいことは白根市立図書館（産業厚生会館内＝電話七二―二一五三）へ、お問い合わせください。

図書の寄贈

▼図書寄贈運動が活発に行なわれていますが、大郷保育園、白蓮保育園の母の会ではこのほど廃品回収を実施、その代金を「図書購入に」と、寄付されました。

▼図書の寄贈をいただき、ありがとうございました。

▽鈴木龍男＝五六の町▽松沢周作＝左ェ門小路▽宮本豊次＝新飯田▽島田吉子＝魚町▽金川幸子＝臼井▽丸山三代市＝諏訪の木▽小林農平＝上塩俵▽山田功＝中鷲の木▽真島登美男＝鷲巻桜町▽鷲巻清治＝水道町▽庭山一郎＝魚町2▽粟山のり子＝能登▽吉田洋一＝庄瀬▽松沢義栄＝水道町▽羽生藤久司＝中山▽桜井キヨ＝庄瀬▽苅周新聞店＝桜町▽荏原貢＝戸頭▽小柳一郎＝大郷▽鳥谷マサ＝桜町▽細貝一郎＝戸頭▽藤宮正雄＝砂押▽小林啓一郎＝臼井▽寺沢和希＝七軒▽白蓮保育園母の会▽吉沢正五＝庄瀬▽狩谷藤次郎＝沖新保▽北村康夫＝七軒▽大鷲保育園母の会▽笠原ソヨ＝中塩俵▽児玉香澄＝西蒲五の上▽北越銀行白根支店＝三の町▽大郷保育園母の会

―寄付金―

▽金千円＝木村清志（上浦）